

## 新素材など研究 産学の装置稼働

スプリング・エイト

住友化学や日東電工などの企業と大学が共同で、兵庫県佐用町の大型放射光施設「Spring 8」(スプリング・エイト)に建設していた新研究装置が4日完成し、稼働した。各社は有機EL(エレクトロ・ル

ミネッセンス)や高機能繊維、燃料電池に使われる新素材などの開発に利用する。

スプリング・エイトは1周約1・4<sup>キロ</sup>メートルの巨大な円形装置から「ビームライン」と呼ばれる放射光の引き込み線を使って、様々な物質の種類や構造を分析できる装置。住友化学のほか、旭化成やキヤノン、東レなどの企業と関西学院大学、合計19の研究グループが共同で、このビームラインを建設した。